



UNWTOとTEJの共催による観光大臣会合(写真は昨年の第2回会合)

初の大阪・関西開催に期待高まる 地域ならではの企画やテーマで魅力を内外に発信

観光大臣会合には18カ国が参加へ

「TEJ2019 大阪・関西」のフォーラム&セミナーは、「持続可能な発展の為に、今こそ観光の役割を果たす」を全体テーマに掲げ、多彩な会議やシンポジウムなどを通じて議論を深めます。

世界最大級の旅の祭典として国際的な観光のキーパーソンが集まるイベントであることを象徴するのが、UNWTO(国連世界観光機関)とTEJの共催による民間の会議として3回目を迎える観光大臣会合です。

10月24日の午後に開催される第3回TEJ観光大臣会合は、参加国数が昨年の13から18に増加する見通しで、「人と文化による地域活性化」をめぐる現状での課題や対策、今後の展望について、観光関連国際機関の代表などとも交え活発な意見交換が行われま

す。

特に、今年は、6月に開催されたG20大阪サミットの「G20大阪首脳宣言」で、観光が世界経済の成長の重要な牽引役となることや各国が持続可能で包摂的な開発などに対する観光分野での貢献を最大化するために取り組んでいくことが盛り込まれ、この首脳宣言を踏まえて、10月25日と26日に俱知安町でG20の枠組みでは初めてとなる観光大臣会合が開催されるため、その直前に行われる第3回TEJ観光大臣会合での議論も注目を集めることになりそうです。

注目のアドベンチャーツリズム

海外部門の展示では、昨年に続いてデスクティネーション別を中心とする従来からの展示に加えて、「クルーズ」などとともに「アドベンチャー」のテーマ別のコーナーが



展示会場で繰り広げられる展示商談会

設定されます。

日本では発展途上の旅行スタイルと言えるアドベンチャーツリズムですが、欧米では年間平均10%前後の成長率を維持しており、市場規模は50兆円に迫るとも言われています。日本人海外旅行者の間でも、近年のモノからコトへという需要のシフトを反映して、「自然」や「アクティビティ」「異文化」が組み込まれた体験への関心も高まってきており、新たな付

JATAと公益社団法人日本観光振興協会(日観振)、日本政府観光局(JNTO)は10月24日から27日までの4日間にわたり、「ツリズムEXPOジャパン(TEJ)2019 大阪・関西」をインテックス大阪と周辺施設で開催します。初めて東京を離れて開催される世界最大級の旅の祭典TEJは、フォーラム&セミナー、展示商談会などに加えて、「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2019」も合同開催され、大阪・関西ならではの企画やテーマを通じて、海外・国内・訪日旅行の更なる市場拡大を図ります。

加価値を生み出すテーマとして注目を集めています。

アドベンチャーツーリズムのコーナーでは、アドベンチャーツアーを扱っている海外のサプライヤーや関係団体など、昨年を上回る10団体以上の出展が予定されています。

「食と酒を巡る旅」を体感

国内部門の展示でも、昨年注目を集めたテーマである「酒蔵ツーリズム」が「食文化・酒蔵ツーリズムエリア」としてパワーアップして、「食と酒を巡る旅」をテーマにブース展開します。

地域ならではの食や食文化を活かした取り組みを通じて、地域への誘客を図るとともに、食文



新たなテーマとして注目される「アドベンチャー」
〔C〕OCVB]

化・酒蔵ツーリズムによる地域振興を目指す各自治体や団体などが、それぞれの魅力をアピール。その土地の歴史や自然、風土が育んだ地域の魅力を味わう「食と酒を巡る旅」を体感できます。

また、「五感を魅了する社会科見学」文化・産業の小径」と銘打った「産業観光エリア」では、自治体や観光関連団体、企業など10以上の団体が出展し、工場夜景をはじめ多彩な「産業観光」の魅力を紹介いたします。

大阪の地域特性を反映する展開も

「TEJ2019 大阪・関西」が開催される地元エリアからも、大阪商工会議所のブースで在阪事業者18社が出展するほか、在



「食と酒を巡る旅」を体感できる「食文化・酒蔵ツーリズムエリア」

阪の鉄道会社7社が「Railways KANSAI」として共同出展するなど、地域特性を反映した展開が注目されます。

大阪商工会議所のブースでは、文房具や金属などの各種メーカー、建築デザイン事業者、ギャラリーなど、幅広い産業の事業者が出展。大阪・関西での開催のキーワードである「ウェルネス」分野でも、在阪の製薬会社と医療機器メーカーが出展を計画しており、大阪における産業の間口の広さや奥行きを打ち出す方針です。

「関西をつなぐ鉄道ネットワーク」をサブテーマに掲げる「Railways KANSAI」は、関西観光本部との連携により各自自治体



水運に支えられて発展した大阪は「水の都」としても魅力を発信

と合同のデジタルスタンプラリーも実施することになっており、オール関西で地域の魅力を強力にアピールします。

ツーリズム産業の裾野拡大に期待

「TEJ2019 大阪・関西」では、昨年が続いて「インバウンド・観光ビジネス総合展」が併催されるほか、新たに「IRゲーミング EXPO2019」もイベント内イベントとして同時開催されます。

IR誘致を目指す大阪・関西で「TEJ」が初めて開催される今年、ツーリズム産業の事業者とIR事業者が一堂に会するイベントでは、IRオペレーター、IR導入を検討する地方自治体、IR関連ビジネスへの参入を検討している各企業団体とのマッチングビジネス商談も予定。一般日にも来場者に向けて、IRへの理解促進を図ります。

ツーリズム産業の裾野をさらに広げるイベント内イベントの派生効果も大いに期待されるところで